

2019年2月の記事一覧

全校朝礼（表彰伝達）

全校朝礼を行い、小・中学生の様々な成果に対して表彰を行いました。



表彰は次の通りです。

○環境美化コンクール（中） ○人権作文（中）



○えひめこども美術展（小・中）



○新居浜こども美術展（小・中）



○えひめっこピカイチ大賞（小・中）



○多読賞（小・中）



○小中学年別卓球大会（中）



今回は数多くの表彰がありました。
小学生と中学生と一緒に表彰されるのは、本校ならではのですね。
児童・生徒ががんばってきたことが、成果となって表れた喜びを
みんなで共有できることが素晴らしいですね。
受賞したみなさん、おめでとう！

【立志寮】 仲間の一善（寮生日誌より）

立志寮で生活している寮生たちは、毎日「寮生日誌」に
1日の生活を振り返って、生活の様子や気づいたことを記録しています。
その中に「仲間の一善」という欄があります。
ここには、その日見つけた他の寮生の善い行動を書き込みます。
そして、毎月の寮生会で、全員の一善をプリントにまとめてみんなで共有しています。
自分の善い行動について、寮の仲間が書いてくれていると、みんな照れながらも
嬉しそうな表情になり、それを共有している時間は、とても温かい雰囲気になります。



今回はそのほんの一例を紹介します。

「Sさんが、休憩時間にもきちんと時計を見ていて、時間がきたら声をかけていた！
見習いたいです！」

「Mさんが、荷物を2階まで上げてくれ、優しい声をかけてくれた。ありがとうございます。」
「夕食のときTさんはすぐに自分の食べ物を準備した後、皆のお茶も注いでいる。
ほぼ毎日だ。・・・すごい！」

これを続けていることで、仲間の善い行動を見つけようとしたり、
さりげなく人を助けたりする行動が着実に増えてきています。
人は誰だって、褒められたら嬉しいものですね。

【立志寮】 第11回寮生会

今月の寮生会が立志寮にて開かれました。

「寮生会」とは、寮生全員による話し合い活動です。
今回は、寮長・副寮長が2年生に交代して2回目の寮生会になります。
この日の話し合いのテーマは、前回に引き続き「新入生の受け入れについて」でした。
前回は、新入生の受け入れで、どのようなことができるかについて
アイデアを出しあいましたが、今回は、そのアイデアを具体化して、
どのように準備を進めるかについて話し合いました。



今回の話し合いは、みんなの議論が煮詰まってしまうたり、企画のイメージにずれが生まれてしまったりして、寮長も副寮長も司会の難しさを実感するものとなりました。それでも、みんなでフォローしながら、なんとか一つの企画を実行に向けて進めていくことになりました。



寮生たちは、建設的な話し合いにより、よりよい考えを創り上げるためには、何が大切なのかについて考えながら、多くのことを学んでいっています。この経験は、大人になってからもとても大切な力になりますね。



【小・中学生の交流】 鬼のお面づくり

小・中学生の交流として、中学2年生と小学生が、昼休みの鬼ごっこに使用する「鬼のお面」を作りました。事前に中学生が作っておいた鬼のお面のパーツを小学生が組み立てるという手順で作っていきました。



小学生は、とてもうれしそうにお面づくりを楽しんでいました。中学生は、楽しみながらも、どう教えたら「やってほしい」ことが上手く伝わるのか試行錯誤し、戸惑いながらも一生懸命教えていました。考えをうまく伝えるって難しいですね。



さあ、次の「鬼ごっこ」の時間が楽しみです！

【中学1年生】働く人に学ぶ講座2

総合的な学習の時間の進路学習の一環として、「働く人に学ぶ」講座を設けています。この日は、別子山在住の企業経営者 和田輝世伸さんを本校にお招きして、生徒たちの職業観を広げるために、仕事に関する様々なお話をさせていただきました。講座の前半では、トラックなどの車両整備にまつわる仕事のお話や経営者としての喜びや苦勞などについてお話いただきました。



講座の後半では、別子山地区の魅力や課題、和田さんが子どもの頃の様子なども交えてお話してくださいました。



生徒たちは、職業感を広げただけでなく、社会人としての生き方を感じとることができました。また、別子山地区の活性化に向けて、地域の方々とどのようにつながって取り組んでいけばよいのかのヒントもいただいたようでした。

和田さん、お忙しい中ありがとうございました。

今後も生徒たちは、この別子山地区の魅力を知り、地域の方々とともに成長し続けられるように様々な取組を行っていきます。

【小・中学生の交流】紙芝居の読み聞かせ

小中学生の交流の一環として、この日は中学3年生が小学生に紙芝居の読み聞かせを行いました。



この日までに練習を重ねた中学3年生が、感情表現豊かに丁寧に紙芝居を読んできました。

ときにはゆっくりと柔らかい口調で、ときには鬼になりきった力強い口調で行うなど、工夫を凝らした読み方ができていました。そんな3年生の姿に、小学校の先生も「さすが3年生！」の一言。



物語の世界に入り込んだ小学生たちは、脇目もふれず紙芝居に見入っていました。

読み聞かせのあと、小学生たちは口々に「楽しかった！」と嬉しそうに言っている姿が印象的でした。

ここ最近、生徒が考えた小・中学生の交流企画が大変充実してきており、小学生にとっても、中学生にとっても楽しみながら学べる有意義な時間になっています。日常生活の中で、次第に中学生から小学生への声の掛け方も変化してきているように感じます。

【中学1年生】働く人に学ぶ講座

現在中学1年生では、総合的な学習の時間の進路学習の一環として、「働く人に学ぶ」講座を設け、職業観を広げようとしています。この日は、新居浜市役所別子山支所を訪問し、支所長さんや職員の方々を講師として、仕事の内容をはじめ、仕事の喜びや苦勞などについてお話をいただきました。



生徒たちは、メモをとりながら話を聞き、ときには質問を織り交ぜながら自分たちの疑問を解決させていくことができました。



講師の方からは、「みなさんが、別子山に来て学んでいるこの3年間は、貴重な機会なので、ぜひ人とのつながりを大切にして頑張ってもらいたい」という言葉をいただきました。

この講座で生徒たちは、別子山地区を支える支所としての仕事の大切さに加え、働くことの意義ややりがいにも触れることができました。別子山支所の皆様、本当にありがとうございました。



【小・中学生の交流】一緒に給食を食べよう

いつもは隣のテーブルで食べている小学生と中学生ですが、今日は、中学生のアイデアで、小学生と同じテーブルで給食をいただきました。食事をしながら、中学生が小学生に好きな食べ物をたずねたり、今度何して遊ぶかを相談したりと温かい時間が流れていました。





また、小学生の前では苦手なものも平気な顔をして頑張って食べていたり、時間に間に合うように食べようとしていたり、かっこ悪いところは見せられない、お兄さんお姉さんのプライドも見え隠れしていました。

【小・中学生の交流】おにごっこ

前回の総合的な学習の時間で、中学生が話し合った小・中学生の交流についてのアイデアを実現するために、各学年で具体的な活動内容を決めました。そして、この日の昼休みの時間を使って、中学生が考えた遊びを小学生と一緒に楽しみました。



この日誕生日を迎えた小学生にお祝いのダンスを中学生が披露するところからスタートし、早速みんなの笑顔が弾けていました。



遊びは「ふえおに」で鬼にタッチされるとどんどん鬼が増えていく鬼ごっこです。

小学生は必死になって鬼から逃げ、それを中学生が助ける場面あり、中学生を追い詰める小学生のがんばりありと、年齢に差はあれども、みんなが一緒に楽しむことができました。



小学生のみんなに楽しんでもらおうと企画したことでしたが、実は中学生の方が楽しんでいたようにも見えました。本校の小・中学生は普段同じ校舎で学ぶ仲間たちです。こういった機会を通して今まで以上に小学生と中学生の距離が縮まったのではないのでしょうか。



今後もこういった交流の場を生徒たちが考えて企画していきます。次回はこういったことをしていくのでしょうか。楽しみです。

少年式

少年の日を迎え、本校でも少年式が行われました。式では、中学2年生6名が『誓いの言葉』を発表しました。それぞれが「自覚」「立志」「健康」を軸に、自分自身と向き合い、これからどんな自分になりたいかについて、真剣に考えたことを自分の言葉でしっかりと伝えることができました。



式後は、記念行事として餅つきを行いました。地域の方や保護者の方にお手伝いしていただき、紅白の餅を作りました。お手伝いをしていただいたおかげで、手際よく楽しく作業することができました。ありがとうございました。



昼食時には、小学生からお祝いのメダルが手渡され、中学1・3年生や先生方からお祝いの言葉をいただきました。とても感動的で、充実した、少年式となりました。



少年式や記念行事では、全員の一生懸命な思いが伝わりました。
中学2年生の皆さんが、今日をまた新たな一歩を踏み出す日とし、
さらなる成長を見せてくれることを願います。

【道徳の時間】性的マイノリティについて考える

現在2年生は、道徳の時間を通して、性的マイノリティ（LGBT）についての
学習を進めています。



この日は、基礎的な知識を学びました。

聞いたことのある言葉について正確な内容を理解することができたり、
初めて見聞きする言葉を知ったりと真剣な態度で授業に臨んでいました。



来週以降もこのテーマについて考えることで、自分の心に向き合いながら、
すべての人が自分に誇りを持ち、自分らしく生きていける共生社会の
実現に向けて、さらに考え続けていきます。

